

第2回円空大賞知事賞

天野裕夫（あまのひろお）



プロフィール

- 1954年：岐阜県瑞浪市に生まれる
1978年：多摩美術大学院彫刻科修了
1984年：「第3回高村光太郎大賞展」彫刻の森美術館賞受賞
1986年：「第1回ロダン大賞展」美ヶ原高原美術館賞受賞
1987年：「彫刻動物園」（栃木県美術館）
1989年：「おもしろわざものすぐれもの展」（岐阜県立美術館）
1992年：「半田市野外彫刻展」優秀賞受賞
1995年：「動物美術館 20世紀日本の生きものイメージ展」（三重県立美術館）
1996年：「第8回神戸具象彫刻大賞展」（兵庫）準大賞、神戸市民賞受賞
「第6回日本現代陶彫展'96」（土岐市／岐阜）金賞受賞
1997年：「冒険美術・水のいたずら」（滋賀県立近代美術館）
1998年：「TUES1998—空想世界の造形—」（美ヶ原高原美術館）
「わくわく美術館—ふしぎないきものたち」（刈谷市美術館／愛知県）
1999年：「第2回ユーモア陶彫展」（セラトピア土岐／岐阜）大賞受賞
2000年：日本テレビ制作フルCGムービーSF『海のオーロラ』にCG原型彫刻を提供
（2000年劇場公開、2001年DVDソフト発売）
2001年：個展「NiCAF」（東京国際フォーラム／東京）
個展「天野裕夫展内蔵都市」（中京大学アートギャラリーC・スクエア／名古屋市）

受賞理由

知事賞は、岐阜県出身の天野裕夫氏に決まった。

天野氏はテラコッタにブロンズ、真鍮、自然石などの素材を組み合わせた巨大な作品を作っている。作品はどこか怪奇であるが、ユーモラスである。氏の作品を縄文的と称する人があるが、私には、それは進化の途中であやかって生み出され、今は絶滅してしまった怪奇な生物を表現しているように思われる。

天野氏の目にはそういう奇怪な生命が数かぎりなく映り、それに造化の主になって天野氏がいたずらっぽい人工を加えているのであろう。



「ティオティワ壺カン」
撮影／三浦興一



「起立都市」
撮影／三浦興一